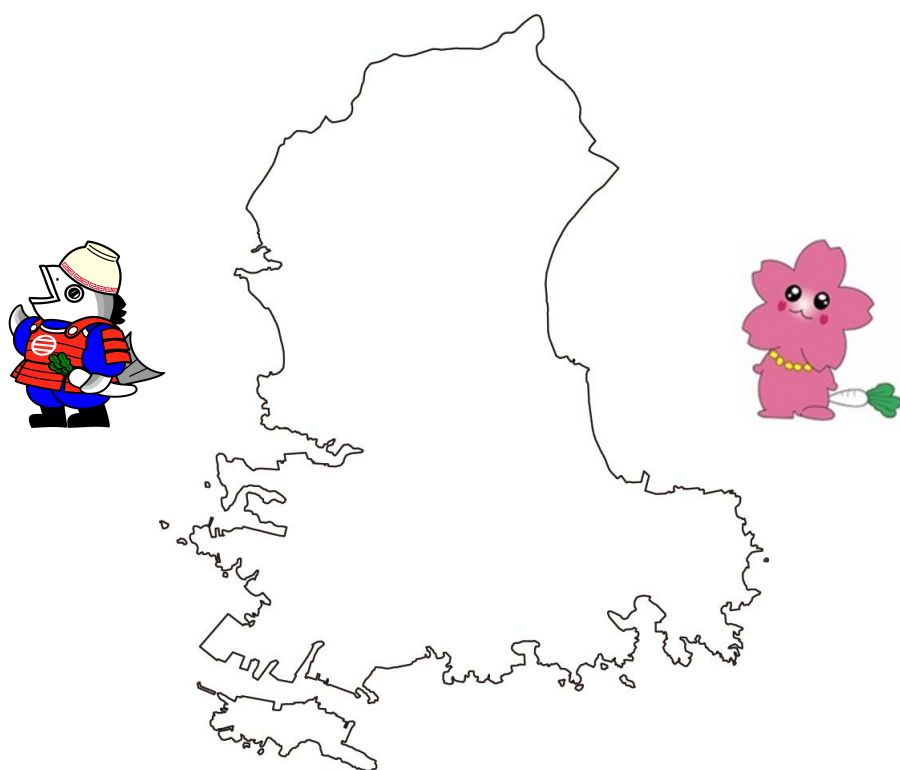


令和4年度（令和3年度実施事務事業）
三浦市教育委員会所管事務事業
点検・評価報告書



令和4年8月

三浦市教育委員会

人・まち・自然の鼓動を感じる都市 みうら

目 次

はじめに	- 1 -
I 点検・評価の概要.....	- 2 -
1 趣旨.....	- 2 -
2 対象事務事業.....	- 3 -
(1) 教育委員会所管事務.....	- 3 -
(2) 点検・評価の対象とする事務事業.....	- 4 -
3 点検・評価の手法.....	- 7 -
(1) 点検・評価の時期と議会提出及び公表	- 7 -
(2) 点検・評価の手順	- 7 -
(3) 有識者会議	- 9 -
4 総合所見	- 9 -
II 点検・評価結果	- 10 -
1 教育総務課所管事業	- 11 -
2 学校教育課所管事業	- 15 -
3 学校給食課所管事業	- 21 -
4 文化スポーツ課所管事業.....	- 22 -
5 青少年教育課所管事業.....	- 24 -
6 総括表	- 25 -
III 教育委員会活動状況報告.....	- 26 -
1 教育委員会教育長・委員名簿.....	- 26 -
2 教育委員会会議	- 26 -
(1) 開催状況.....	- 26 -
(2) 審議等の状況	- 27 -
3 教育委員会会議以外の活動状況.....	- 32 -
IV 教育委員会総合所見.....	- 33 -

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することが義務付けられており、点検・評価を行うにあたっては、透明性、客観性を確保するという観点から、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

三浦市では、平成 27 年 4 月の地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正施行に伴い、平成 27 年 10 月より新たな教育委員会制度の下に事務事業の執行にあたっておりますが、本年度の点検・評価についても、有識者会議の委員各位のご見識とご尽力により貴重なご意見を頂戴いたしました。委員各位には、あらためて厚く御礼申し上げます。

点検・評価は、教育委員会が自己評価をするものでありますが、教育委員会の責任体制の明確化を図り、結果を公表することで、市民のみなさまへの説明責任を果たし、教育委員会事務事業の課題を明確にすることの意味は大きいものであると認識しています。

また、点検・評価というツールを教育委員会の組織、体制の改善や事務事業の見直しに使って参りたいと思います。点検・評価をすることが目的ではなく、それを活用することが点検・評価の目的であると認識し、教育委員会組織の充実を図り、質の高いサービスを提供することにつなげて参りたいと考えておりますので、市民のみなさまにおかれましても、この報告書をご高覧賜り、三浦らしい教育の実現に向け、三浦市教育委員会に対し叱咤激励を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

令和 4 年 8 月

三浦市教育委員会

I 点検・評価の概要

1 趣旨

平成 19 年 6 月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「地教行法」という。）の一部が改正（平成 20 年 4 月 1 日施行）され、全国すべての教育委員会において、毎年、教育委員会所管事務の管理及び執行状況について点検及び評価（以下「点検・評価」という。）を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、公表することとされました。

三浦市教育委員会においても、所管事務の管理及び執行状況について毎年、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会（三浦市議会第 3 回定例会）に提出するとともに、市民に公表いたします。

このことにより、教育委員会の責任体制の明確化を図り、点検・評価結果を公表することで市民のみなさまへの説明責任を果たし、課題を明確にすることで次の事務執行の改善等を進めます。これは、教育委員会自らが、その所管する事務事業の P D C A サイクル※1を確立しようとするもので、P D C A サイクルの確立により、効率的かつ効果的な教育行政の推進を図ることを趣旨としています。

【参考：地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）】

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

※1：「P D C A サイクル」

典型的なマネジメントサイクルの 1 つで、計画（plan）、実行（do）、評価（check）、改善（act）のプロセスを順に実施する。最後の act では check の結果から、最初の plan の内容を継続（定着）・修正・破棄のいずれかにして、次回の plan に結び付ける。このらせん状のプロセスを繰り返すことによって、品質の維持・向上および継続的な業務改善活動を推進するマネジメント手法のこと。

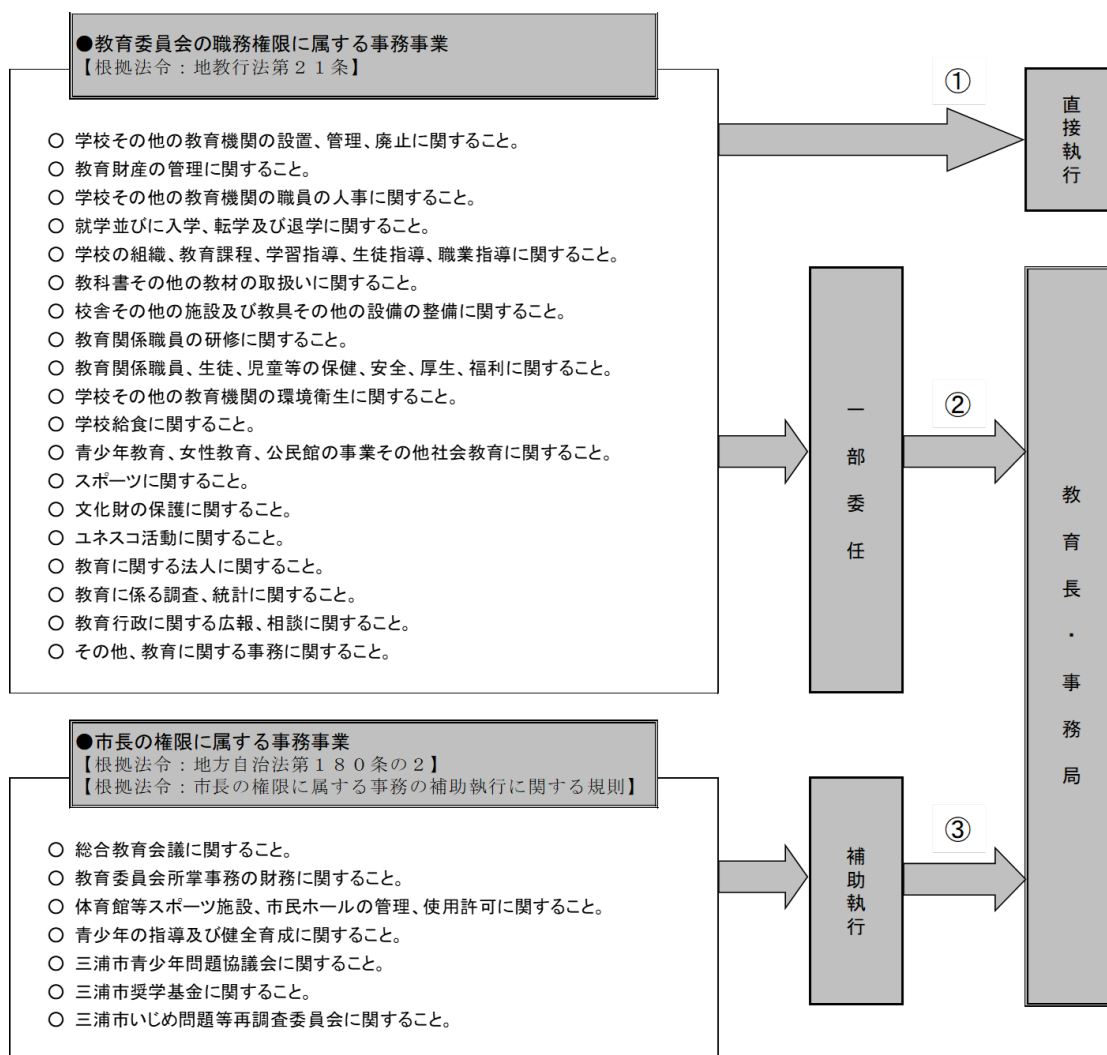
2 対象事務事業

(1) 教育委員会所管事務

三浦市教育委員会は、教育長、4人の教育委員及び教育委員会事務局で組織されています。

ここで所管する事務事業は、下記の図1のとおりに分類されます。

【図1：教育委員会所管事務体系】



すなわち、

- ① 地教行法第21条に基づき、教育委員会が直接執行する事務
- ② 地教行法第21条に基づき、教育委員会が教育長・事務局に委任して執行する事務

③ 地方自治法及び規則に基づき、市長の権限に属する事務を教育長・事務局が補助執行^{※2}する事務

の3つです。

点検・評価の対象は、前述の地教行法第26条のとおり「教育委員会の権限に属する事務」とされていますので、上記の①と②の一部を対象とすることとします。

(2) 点検・評価の対象とする事務事業

三浦市では、すべての経費を、人件費、生活保護費などの扶助費、公債費（利息を含めた借金の返済金）などに充てる義務的経費、施設の維持管理費などのその他経費（経常的）、それ以外の経費で、総合計画に沿ったまちづくりの計画の具現化を進める事業に充てる実施計画事業費やその他経費（臨時的）の区分にしています。

前2者は事業選択や予算規模に関する自由裁量が少なく、実施計画事業費に関しては、事業選択や予算規模に関して比較的自由な裁量が可能な経費です。

そのことから、点検・評価の対象事務事業は、年度内に教育部が達成目標を設定した事務事業のうち、「市長の権限に属する事務の補助執行に関する規則」により教育委員会の教育長及び事務局職員並びに教育機関の職員が補助執行するものを除くものを基本とします。

(1)の①及び②のうち、達成目標を設定した事務事業から選択した事業に、経常的経費を充当するもののうち、政策的に重要な意味を持つ事業を加え、点検・評価の対象事業とします。

具体的には次の表1に示す教育委員会所管の事業のうち、「点検・評価対象」に“○”を付した事業を対象とします。

※2: 「補助執行」

ある行政機関の事務を他の行政機関に所属する職員が補助して執行することをいう。市長の権限に属する事務は本来、市長の副市長以下の補助執行機関が行うが、教育行政については、規則により教育委員会が補助執行している。

【表１：教育委員会所管事務事業と点検・評価の対象事務事業】

No.	事業名	決算 見込額 (円)	主 管			充当 経費	権限区分		点検 評価 対象	事業区分	
			部門	部	課		委員会	市長		実施 計画	その他 課題
1	小学校特別支援学級充実事業	307,683	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
2	中学校特別支援学級充実事業	100,932	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
3	教育委員会運営事業	4,134,800	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
4	教育委員会事務局一般管理事業	471,410	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
5	教育振興小学校管理運営事業	21,178,981	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
6	小学校義務教育施設維持管理事業	51,138,493	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
7	小学校施設整備事業	1,782,000	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○		○		○
8	教育振興中学校管理運営事業	17,902,266	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
9	中学校義務教育施設維持管理事業	35,022,401	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
10	中学校施設整備事業	24,294,600	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○		○		○
11	小学校教育環境適正化事業	226,545	一体感	教育部	1 教育総務課	実計	○		○	○	
12	奨学事業	9,135,349	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○		○		○
13	公立学校施設災害復旧事業	400,400	一体感	教育部	1 教育総務課	その他	○				
14	就学時健康診断事業	355,862	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
15	小学校疾病予防検査事業	13,538,683	一体感	教育部	2 学校教育課	義務	○				
16	中学校疾病予防検査事業	6,075,232	一体感	教育部	2 学校教育課	義務	○				
17	グローバル教育推進事業	6,835,509	一体感	教育部	2 学校教育課	実計	○		○	○	
18	相談指導教室事業	1,834,066	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
19	小学校教材教具整備事業	20,699,403	一体感	教育部	2 学校教育課	義務	○				
20	中学校教材教具整備事業	18,547,689	一体感	教育部	2 学校教育課	義務	○				
21	障害児教育事業	18,476,622	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
22	小学校心身障害児教育充実事業	1,462,435	一体感	教育部	2 学校教育課	義務	○				
23	中学校心身障害児教育充実事業	1,019,955	一体感	教育部	2 学校教育課	義務	○				
24	教育研究所事業	3,809,107	一体感	教育部	2 学校教育課	実計	○		○	○	
25	教育指導事業	1,242,080	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
26	教職員福利厚生事業	217,000	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
27	教育指導一般管理事業	543,449	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
28	地域教育力活用事業	87,500	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
29	海洋教育推進等地域連携事業	1,115,579	一体感	教育部	2 学校教育課	実計	○		○	○	
30	小学校学校災害傷害保険事業	1,569,260	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
31	中学校学校災害傷害保険事業	947,692	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
32	地域ぐるみの学校安全安心体制整備推進事業		一体感	教育部	2 学校教育課		○		○		○
33	海難交通遭見就学奨励事業	0	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○				
34	小学校就学援助事業	14,267,124	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○		○		○
35	中学校就学援助事業	8,415,042	一体感	教育部	2 学校教育課	その他	○		○		○
36	学校給食事業	162,571,936	一体感	教育部	3 学校給食課	義務	○		○		○
37	学校体育施設開放事業	114,026	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
38	スポーツ施設運営管理事業(体育施設)	136,007,976	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他		○			
39	かながわ駅伝競走大会選手派遣事業		一体感	教育部	4 文化スポーツ課		○				
40	スポーツ推進審議会事業	0	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				

No.	事業名	決算 見込額 (円)	主管			充当 経費	権限区分		点検 評価 対象	事業区分	
			部門	部	課		委員会	市長		実施 計画	その他 課題
41	わんぱく相撲大会事業	0	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
42	スポーツ推進委員事業	927,810	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	義務	○				
43	地域スポーツ振興事業	1,355,500	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○		○		○
44	保健体育総務一般管理事業	2,073,910	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
45	文化財保護委員会事業	67,875	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
46	赤坂遺跡等埋蔵文化財緊急発掘調査事業	3,472,441	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
47	文化財施設維持管理事業	419,181	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
48	文化財保護一般管理事業	26,280	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
49	指定文化財保存管理助成事業	435,000	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
50	三浦市伝統芸能等伝承振興事業	1,000,000	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
51	三浦市文化祭事業	0	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
52	白秋記念館管理運営事業	1,574,745	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
53	三浦市民ホール事業	99,193,054	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他		○			
54	社会教育団体助成事業(PTA)	58,000	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
55	社会教育総務一般管理事業	5,660	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
56	社会教育委員事業	84,679	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
57	社会教育講座事業	121,000	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○		○		○
58	人権教育推進事業	105,432	一体感	教育部	4 文化スポーツ課	その他	○				
59	姉妹都市交流事業	0	一体感	教育部	5 青少年教育課	その他	○				
60	青少年姉妹都市国際交流事業	0	一体感	教育部	5 青少年教育課	その他	○				
61	子ども会活動促進事業	91,500	一体感	教育部	5 青少年教育課	その他	○				
62	子どもの船事業	0	一体感	教育部	5 青少年教育課	その他	○				
63	青少年教育一般管理事業	1,680	一体感	教育部	5 青少年教育課	その他	○				
64	成人の日のつどい事業	33,930	一体感	教育部	5 青少年教育課	その他	○				
65	青少年問題協議会事業	0	一体感	教育部	5 青少年教育課	その他		○			
66	青少年指導員活動事業	1,022,332	一体感	教育部	5 青少年教育課	義務	○		○		○
67	旧児童館除去事業	7,327,100	一体感	教育部	5 青少年教育課	その他	○				
68	図書収集整理閲覧事業	6,113,983	一体感	教育部	6 図書館	その他	○				
69	図書館運営管理事業	2,788,830	一体感	教育部	6 図書館	その他	○				
70	公民館フェスティバル事業	0	一体感	教育部	7 南下浦市民センター	その他	○				
71	南下浦市民センター維持管理事業	5,433,854	一体感	教育部	7 南下浦市民センター	その他	○				
72	南下浦市民センター社会教育指導員事業	1,207,201	一体感	教育部	7 南下浦市民センター	義務	○				
73	初声市民センターまつり事業	0	一体感	教育部	8 初声市民センター	その他	○				
74	初声市民センター維持管理事業	5,262,486	一体感	教育部	8 初声市民センター	その他	○				
75	初声市民センター社会教育指導員事業	1,232,819	一体感	教育部	8 初声市民センター	義務	○				
点検・評価対象事業数 14											

3 点検・評価の手法

(1) 点検・評価の時期と議会提出及び公表

三浦市議会では、毎年第3回定例会（通常9月開催の定例会）において一般会計決算の認定議案が審議されることとなっています。教育委員会所管事務事業の決算に係る審議も例外ではなく、その審議に合わせ、教育委員会所管事務事業の点検・評価を議会に提出し、公表すべきであると考えられます。

このことから、点検・評価は、毎年、三浦市議会第3回定例会前に行い、同議会において報告後、すみやかに三浦市のホームページにおいて公表し、南下浦、初声の両市民センター及び教育委員会教育総務課に閲覧用の報告書を備え、市民のみなさまに供することとします。

(2) 点検・評価の手順

ア 点検・評価の手順と内容

点検・評価は、次の手順及び内容で行います。

(ア) 達成目標と実績の検証

事業ごとに定めた達成目標の確認及び実績を明示します。

(イ) 事務局自己評価

(ア) 及びその他の情報に基づき、事務局として、事務事業の成果及び課題と課題に対する対処方針を明示します。

(ウ) 有識者意見調整

(ア)、(イ) 及びその他の情報に基づき、有識者の意見を調整します。

(エ) 教育委員会総合評価

(ア) ～ (ウ) 及びその他の情報に基づき、事業手法、目標と実績及び事業効果の3点について、次の表2～表4の区分により、評価します。

その際、ランクを5点から1点と点数化し、教育委員がそれぞれ評価したランクの件数に乗じて求めた合計点から加重平均を求め、4.5以上を5評価、3.5以上4.5未満を4評価、2.5以上3.5未満を3評価、1.5以上2.5未満を2評価、1.5未満を1評価とするものとします。

なお、評価に当たっては、必要に応じて各教育委員の意見を取りまとめた付帯意見を付すものとします。

【表 2：事業手法に関する評価区分】

ランク	評 価
5	事業手法が適切で、改善の余地がない。
4	事業手法は適切であった。
3	事業手法はおおむね適切であった。
2	事業手法はおおむね適切だが、改善すべき点が認められる。
1	事業手法の見直しが必要である。

【表 3：目標と実績に関する評価区分】

ランク	評 価
5	目標が適切で、十分な実績をあげた。
4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。
3	目標はおおむね妥当であり、予定の実績を得られた。
2	目標設定に課題はあり、予定の実績を得られなかった。
1	目標設定に問題が認められ、予定の実績を得られなかった。

【表 4：事業効果に関する評価区分】

ランク	評 価
5	具体的効果が十分に得られている。
4	具体的効果が得られている。
3	一定の効果は得られている。
2	十分な効果が認められず、事業の改善が必要である。
1	効果が認められず、事業の必要性について検証が必要である。

(3) 有識者会議

地教行法第 26 条第 2 項の規定により、点検・評価をするに当たり教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るため、「三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価に関する有識者会議」（以下「有識者会議」という。）を組織します。

有識者会議は、達成目標と実績の検証、事務局自己評価及びその他の情報に基づき、教育委員会所管事務事業の決算の状況に関する意見を交換し、調整し、教育委員会の総合評価に資することを目的とします。

【表 5：有識者会議委員名簿】

（50 音順：敬称略）

氏 名	役職等
椎 名 博 貴（しいな ひろたか）	三浦市 P T A 連絡協議会会長
玉 井 恵 理（たまい えり）	元三浦市教育委員

4 総合所見

点検・評価報告書には、前 2 項に掲げる点検・評価のほか、教育委員会活動状況報告を掲載するとともに、効率的かつ効果的な教育行政の推進に資することを目的として、教育委員会の事務全般に対する教育委員会の総合所見を掲載します。

Ⅱ 点検・評価結果

点検・評価の結果について、対象事業を所管する課ごとに並べ、掲載します。
対象事業の一覧と掲載ページは、次の表 6 のとおりです。

【表 6：対象事業一覧・掲載ページ索引】

No.	事業名	決算 見込額 (円)	所管課	充当 経費	権限区分		掲載 ページ
					委員会	市長	
7	小学校施設整備事業	1,782,000	1 教育総務課	その他	○		11
10	中学校施設整備事業	24,294,600	1 教育総務課	その他	○		12
11	小学校教育環境適正化事業	226,545	1 教育総務課	実計	○		13
12	奨学事業	9,135,349	1 教育総務課	その他	○		14
17	グローバル教育推進事業	6,835,509	2 学校教育課	実計	○		15
24	教育研究所事業	3,809,107	2 学校教育課	実計	○		16
29	海洋教育推進等地域連携事業	1,115,579	2 学校教育課	実計	○		17
32	地域ぐるみの学校安全安心体制整備推進事業		2 学校教育課		○		18
34	小学校就学援助事業	14,267,124	2 学校教育課	その他	○		19
35	中学校就学援助事業	8,415,042	2 学校教育課	その他	○		20
36	学校給食事業	162,571,936	3 学校給食課	義務	○		21
43	地域スポーツ振興事業	1,355,500	4 文化スポーツ課	その他	○		22
57	社会教育講座事業	121,000	4 文化スポーツ課	その他	○		23
66	青少年指導員活動事業	1,022,332	5 青少年教育課	義務	○		24
点検・評価対象事業数 14							

※No.については、P5～P6の教育委員会所管事務事業と点検・評価の対象事務事業のNo.と一致しています。

1 教育総務課所管事業

No.	事業名					部門	一体感
7	小学校施設整備事業					部	教育部
						課	教育総務課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				項	02 小学校費
	施策	義務教育環境の充実				目	01 学校管理費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
当初予算		2,184,000	0	0	0	2,184,000	0
決算(見込)		1,782,000	0	0	0	1,000,000	782,000
執行率		81.59%	-	-	-	45.79%	-
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 3 年度 事業内容							
南下浦小学校、剣崎小学校にフェンスを設置し児童の安全確保に努めます。							
目標と実績	令和 3 年度 達成目標		令和 3 年度 実績			達成状況	
	南下浦小学校及び剣崎小学校ブロック塀更新工事：2件		南下浦小学校及び剣崎小学校ブロック塀更新工事：2件			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】老朽化したブロック塀を撤去し、新しくフェンスを設置することで児童の安全確保を図った。 【課題】老朽化等による学校施設の修繕工事対応			学校から要望があった修繕工事に対して優先順位をつけて、学校と連携しながら対応していく。			
有識者意見	小学校のブロック塀更新工事により子どもたちの安心が図られたことは評価できる。 小学校は老朽化が急激に進んでおり、雨漏り等をしている箇所もあるので、限られた予算ではあるが子どもの安全を第一に考えて、積極的に修繕を行って頂きたい。 学校施設は避難所としても指定されているので、他部署とも連携した維持管理が必要と考える。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	教育と生活の場である学校が一人一人豊かである為に、環境の整備はとても重要である。 老朽化による修繕対応が優先的に行われるが、近年は情報社会に合わせ学習形態も多様化しているので、現在そして未来を見据えた整備の見直しに期待する。 学校の統廃合も検討されているが、現在の子どもたちの事を考えた整備をすることが重要である。 厳しい財政状況の中で優先順位の基準を明確にし、年間を通して児童の安全が確保されることを願う。					

No.	事業名					部門	一体感
10	中学校施設整備事業					部	教育部
						課	教育総務課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる				予算	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成					03 中学校費
	施策	義務教育環境の充実					01 学校管理費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		29,451,000	0	0	0	29,451,000	0
決算(見込)		24,294,600	0	0	0	19,900,000	4,394,600
執行率		82.49%	-	-	-	67.57%	-
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 3 年度 事業内容							
三崎中学校合併浄化槽の更新及び令和2年度中にクラウドファンディング型ふるさと納税「みうらっ子応援プロジェクト」に寄せられた寄附金を活用し、生徒一人当たりの洋式トイレ率の低い三崎中学校、初声中学校のトイレの洋式化を図り、教育環境の維持管理に努めます。							
目標と実績	令和 3 年度 達成目標		令和 3 年度 実績			達成状況	
	三崎中学校合併浄化槽制御盤更新工事：1件 三崎中学校及び初声中学校トイレ洋式化等改修工事：2件		三崎中学校合併浄化槽制御盤更新工事：1件 三崎中学校及び初声中学校トイレ洋式化等改修工事：2件			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】老朽化した三崎中学校の浄化槽制御盤更新工事及び三崎、初声中学校のトイレ洋式化等の改修工事を行うことで教育環境の改善を図った。 【課題】老朽化等による学校施設の修繕工事対応			学校から要望があった修繕工事に対して優先順位をつけて、学校と連携しながら対応していく。			
有識者意見	トイレの洋式化により教育環境の快適化を図れたと思う反面、和式トイレの使い方に慣れる訓練や便座を消毒するキット設置の検討もしてもらいたい。 中学校は老朽化が急激に進んでおり、雨漏り等をしている箇所もあるので、今回のようにクラウドファンディング型ふるさと納税による寄附金を活用して、子どもたちの教育環境の快適化を図るために積極的に整備を行って頂きたい。 学校施設は避難所としても指定されているので、維持管理をお願いしたい。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	古い校舎では当時のまま和式トイレが一般的だが、現在の子どもには使い慣れない構造であり、洋式トイレへの改修は学校生活を快適に過ごす一助になった。 ふるさと納税の寄附金の活用によりトイレの洋式化が整備されたことは評価できる。					
		コロナ禍を経験していることで、子どもたちの健康に留意した施設づくりに更なる意識が高まっているため、老朽化に対する対処と共に、衛生的な施設整備にも配慮して欲しい。 今後も厳しい予算の中、老朽化や気候変化に対応する整備をお願いする。					

No.	事業名					部門	一体感
11	小学校教育環境適正化事業					部	教育部
						課	教育総務課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款 09	教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				項 01	教育総務費
	施策	義務教育環境の充実				目 02	事務局費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
当初予算		612,000	0	0	0	0	612,000
決算(見込)		226,545	0	0	0	0	226,545
執行率		37.02%	-	-	-	-	37.02%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 3 年度 事業内容							
学校教育ビジョンの見直しに向けて保護者や市民アンケート等を実施するため、保護者、地域の代表及び有識者等で構成する地域協議会において、アンケート内容等を検討し、学校教育ビジョンの見直しを図ります。 また、初声地区においては小中一貫教育及び地域連携を推進するため、教員による初声地区小中一貫教育推進委員会で検討を進めるとともに、地域連携のため会議を新たに開催します。							
目標と実績	令和 3 年度 達成目標		令和 3 年度 実績		達成状況		
	地域協議会等住民参加の会議の開催：計24回 初声地区小中一貫教育推進委員会の開催：4回		地域協議会等住民参加の会議の開催：計6回 初声地区小中一貫教育推進委員会の開催：2回		50%未満		
					達成状況100%未満の理由 新型コロナウイルス感染症拡大により、まん延防止等重点措置及び神奈川県版緊急事態宣言の発出等で地域協議会等の開催を見合わせたため。		
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】地域協議会において、保護者向けアンケート等の内容について協議することが出来た。また、初声地区の小中一貫教育推進委員会においても市民の考えを直接的に聞くことができた。 【課題】保護者向けアンケートの設問に対して、内容の表現方法や説明の追加等の意見があり、アンケート内容を検討する。			庁内の学校教育ビジョン課題検討会議において内容の見直しを行う。			
有識者見	このコロナ禍において会議を行うことは難しかったと思うが、地域協議会を6回開催できたことは評価できる。 子どもの減少、市民の減少は待ったなしの状況にある。 学校教育ビジョンの見直しや初声地区の小中一貫については、市民の考えを聞いて、メリット、デメリットを精査したうえで、市民が納得できる着地点を見出すことを期待している。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	3	目標はおおむね妥当であり、予定の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付 帯 意 見	コロナ禍の影響で会議の開催が縮小されたことは残念だが、アンケート内容の協議に進めたことは評価できる。 保護者、市民向けアンケートを実施して、市民の皆様の考えを把握しながら、将来に向けてより良い小学校の体制が構築できることを期待する。 また、アンケートを行った以上、その結果を踏まえて回答者の視点に立ち、真摯に対応していく必要がある。 子供たちの教育、環境、安全等を優先して考えながら、精力的に進めて欲しい。					

No.	事業名					部門	一体感
12	奨学事業					部	教育部
						課	教育総務課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款09	教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				項01	教育総務費
	施策	みうらっ子を地域で育む風土づくり				目02	事務局費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		10,441,000	0	0	0	10,441,000	0
決算(見込)		9,135,349	0	0	0	9,135,349	0
執行率		87.49%	-	-	-	87.49%	-
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 3 年度 事業内容							
大学等に進学を希望しながら経済的な理由により進学が困難な学生に対して、選考上位の学生4名に入学時の給付金支給と無利子貸付を、選考に漏れた学生の中から希望する上位4名に無利子貸付を行い修学を支援します。 また、令和2年度に改正した奨学金制度を周知し、令和4年度の募集を行います。							
目標と実績	令和 3 年度 達成目標		令和 3 年度 実績			達成状況	
	奨学給付金給付人数：4名 奨学貸付金貸付人数：24名 貸付終了者（5名）が上級学校進学 若しくは就職		奨学給付金給付人数：4名 奨学貸付金貸付人数：24名 貸付終了者：5名（うち就職4名、その他1名）			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対応方針			
	【成果】大学生及び専門学校生に対して、奨学金を給付及び貸与することで経済的負担の軽減を図った。 また、改正した奨学金制度を周知し、令和4年度の募集を図った。						
有識者意見	このコロナ禍で、今まで以上に経済的に困窮している学生が増加していると推察される中、平等に教育を受けられるよう手厚く支援していくことを切に願う。 受給生達が卒業した後、三浦市で就職し定住することを期待したい。 公費を使用した成果を市民に明らかにするため、一程度の奨学生の情報を公表出来ないか検討していただきたい。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	5	事業手法が適切で、改善の余地がない。				
	目標と実績	5	目標が適切で、十分な実績をあげた。				
	事業効果	5	具体的効果が十分に得られている。				
	付帯意見	大学への進学希望者に対して、進学の支援により子どもたちの可能性を増やせる大変意義のある事業だと思う。 国の奨学金制度が改正され、学ぶ意欲が高くても、それぞれの置かれた家庭状況で進学が難しい学生を一人でも多く支援できることを望む。					

2 学校教育課所管事業

No.	事業名					部門	一体感
17	グローバル教育推進事業					部	教育部
						課	学校教育課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる				款 予算 項 目	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成					01 教育総務費
	施策	みうらっ子を育む教育力の向上					03 教育指導費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		9,543,000	0	0	0	0	9,543,000
決算(見込)		6,835,509	232,000	0	0	0	6,603,509
執行率		71.63%	-	-	-	-	69.20%
予算執行率100%超又は 執行なしの理由							
令和 3 年度 事業内容							
児童生徒の英語学習の充実を図るとともに、国際交流への関心度を深めるため、国の外国語青年招致事業（JETプログラム）及び姉妹都市ウォーナンブル市より招へいた国際交流推進非常勤講師並びに市民有志による外国語支援員（ボランティア）を小中学校に派遣し、分かりやすい英語授業づくりを支援します。 また、「三浦市学校教育全体構想」の中にSDGsの理念を取り入れ、各教職員への周知により授業づくりに対しての意識づけを行うことで、持続可能な社会の担い手としての資質を育成するための授業づくりを支援します。							
目標と実績	令和 3 年度 達成目標		令和 3 年度 実績			達成状況	
	小学校での英語授業実施 外国語支援員：200日 国際交流推進非常勤講師：185日		小学校での英語授業実施 外国語支援員：154日 国際交流推進非常勤講師：80日（11月から）			50%以上～75%未満	
	中学校での英語授業実施 国際交流推進非常勤講師：185日 SDGsの視点を持った授業実践：全小中学校		中学校での英語授業実施 国際交流推進非常勤講師：157日（6月から） SDGsの視点を持った授業実践：全小中学校			達成状況100%未満の理由 新型コロナウイルス感染症の影響で、小・中学校両方の国際交流推進非常勤講師の来日と雇用が遅れてしまい、予定日数雇用することができなかったため。 外国語支援員は、当初予定した人数を確保したが、都合により勤務日数が少ない者がいたため、予定日数に届かなかった。	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】新型コロナウイルス感染症の影響で、雇用期間がだいぶ短縮されたが、採用後は全小中学校に派遣し、授業に多く関わることができた。2名の講師は国際交流協会主催の英会話教室の講師も務め、幅広く市民の国際理解を深めた。 【課題】国際交流推進非常勤講師の安定的な確保。			市長部局と連携し姉妹都市からの国際交流推進非常勤講師2名体制を維持するが、令和4年度は現在の非常勤講師を継続雇用できる予定である。確保が難しい場合は外国語青年招致事業（JETプログラム）からの派遣講師の採用も検討する。			
有識者見	このコロナ禍において、ALT（国際交流推進非常勤講師）として講師が2人、三浦市に来てくれたことは本当に有難いことである。 外国語支援員は主に小学校の3、4年生の授業を行っているが、人員を増やすことで、さらに充実したものになると思う。 人材を確保することが厳しいと思うが、子どもたちの教育に支障無いう講師の確保をお願いしたい。 また、小中学校の英語担当の教師との連携をもっと進めてもらいたい。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	国際交流推進非常勤講師の2名が活動できた事は評価できる。 コロナ禍での講師及び外国語支援員の確保は、どこの自治体でも厳しい状況であり確保は大変だったと思われる。 子どもたちが外国語に触れ合う機会も多くなり、小学校の英語教育が行われるようになったので、今後も安定的な講師等の確保の具体的な策を持ち、尽力してもらうことを期待する。 SDGsの視点を持った授業の実施はグローバルな未来に向けて責任のある教育であり、教職員の意識が子どもたちに大きな影響を与えると考える。 SDGsを子どもも大人も自分の問題として捉えていける教育を目指して欲しい。					

No.	事業名					部門	一体感
24	教育研究所事業					部	教育部
						課	学校教育課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				項	01 教育総務費
	施策	みうらっ子を育む教育力の向上				目	03 教育指導費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		3,660,000	0	0	0	0	3,660,000
決算(見込)		3,809,107	0	506,246	0	0	3,302,861
執行率		104.07%	-	-	-	-	90.24%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由		「いのち」を大切にすることをはぐくむ教育推進研究委託事業を当初予算計上後に実施することになったため補正予算に計上できず予備費充用対応としたため					
令和 3 年度 事業内容							
児童生徒の学習や学校生活に起因する諸問題に対応するため、教育相談員を配置し、保護者や児童生徒の相談に応じます。 県の研究組織や各種研究会に負担金を交付し、各団体の研究成果を各学校に還元します。 各小中学校における校内研究の推進や、研修会を主催し、教職員の資質の向上を図ることにより、分かりやすい授業を実施します。 なお、令和3年度からICT支援員を新たに配置し、GIGAスクール構想の推進を図ります。							
目標と実績	令和 3 年度 達成目標		令和 3 年度 実績			達成状況	
	教育相談員の配置：40日 市内小中学校での校内研究の実施：全小中学校 ICT支援員の配置：241日		教育相談員の配置：40日 市内小中学校での校内研究の実施：全小中学校 ICT支援員の配置：241日			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】神奈川県から、かながわ学びづくり推進地域研究事業を受託することで、授業づくりや校内研究に係る研修会を各校において実施した。また、研修会への他校からの参加もなされた。 【課題】市内各校の研究のさらなる活性化と教員の授業力の向上。			市教育委員会が発行する「学びづくり通信」において、各学校の研修日程や研究授業の日程を周知し他校からの参加を促すとともに、各学校の研究内容や成果についても積極的に発信することで、市内全教職員で共有を図る。			
有識者見	ICT支援員を配置したことは、タブレット端末や電子黒板を使用し授業を進めるにあたって、教職員の負担を軽減させるために有効と思われる。 クラス数が減っている中、市全体で問題点を共有し、他校と連携を取っていくことは、とても大切である。 現場の教師が誇りをもって教壇に立てるよう、そして全ての生徒から先生の授業わかりやすいと言われるようになることを願う。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	教職員の資質向上のために研修や研究の学びの機会を継続的に必要であり、事業の発展と充実を更に望みたい。 県受託事業で得られた内容が活用され授業力の向上がさらに進められることに期待する。 教育のICT化に向けて、ICT支援員の活動は今後、重要になってくると思われるので、その働きに期待するとともに、ICT支援員による効果の分析なども今後はお願いしたい。 また、教員が相談できる場も必要ではないかと考える。					

No.	事業名					部門	一体感
29	海洋教育推進等地域連携事業					部	教育部
						課	学校教育課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる				予算 款 項 目	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成					01 教育総務費
	施策	みうらっ子を育む教育力の向上					03 教育指導費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		2,134,000	0	0	0	2,134,000	0
決算(見込)		1,115,579	0	0	0	1,000,000	115,579
執行率		52.28%	-	-	-	46.86%	-
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 3 年度 事業内容							
三浦らしい海洋教育の推進及び地域と連携した教育に取り組むことで、郷土三浦への愛着を深め、地域社会への関心度の向上につなげます。 (一社)みうら学・海洋教育研究所や東大三崎臨海実験所等の関係機関と連携し、市内の全小中学校で海洋教育授業を実施するほか、子どもたち自身が各校の取組を発表し合う「海洋教育の集い」を開催します。							
目標と実績	令和 3 年度 達成目標		令和 3 年度 実績			達成状況	
	海洋教育教材を活用した授業実施：全小中学校 市ホームページでの情報発信：3回 海洋教育写真コンテストの開催：1回 海洋教育写真コンテスト優秀作品のみうら市民まつり等での展示：4回 海洋教育のつどいの開催：1回		海洋教育教材を活用した授業実施：全小中学校 市ホームページでの情報発信：3回 海洋教育写真コンテストの開催：1回 海洋教育写真コンテスト優秀作品の三浦市立病院の院内等での展示：2回 海洋教育のつどいの開催：1回(書面開催)			75%以上～100%未満 達成状況100%未満の理由 海洋教育写真コンテスト優秀作品の展示を予定していたみうら市民まつりとYMCAグローバルエコヴィレッジのフェスティバルがコロナ禍の影響で開催中止となり、結果として三浦市立病院院内展示と三浦市創造展での展示にとどまったため。	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】「海洋教育のつどい」は書面開催となったが、各学校が開発した海洋教育カリキュラムをまとめたパンフレットと冊子を作成し、全児童生徒及び教員に配布したことで、実践の共有を図ることができた。 海洋教育写真コンテストの受賞作品をホームページ上で公開するとともに、様々な学校の取組を、イントラネット上でも閲覧できるように改良した。 また、つりぼり体験や全校での地引網体験、オープントップバスとにじいろさかな号を利用したうみかぜツアー(市内見学)などの新しいカリキュラムを開発した。 【課題】持続可能な海洋教育の推進			三浦市教育研究所とみうら学・海洋教育研究所とで協力し、地元関係者と連携しながら体験的活動等を行っていくことで、引き続き郷土三浦に愛着を持ち、社会に積極的に参画していくとする人材の育成を目指す。			
有識者意見	この事業は、初期の頃に比べ、活動の内容が広がってきたように思われる。 その学校特有なものもあるが、学校全てを巻き込んで体験を共有出来るようにするなど、海洋教育に学校差がでないことを望む。 子どもたちが将来、海洋事業の職に就き生計が成り立つことで、定住するようになればと思う。 郷土愛を育むよう、この事業が続くことを願っている。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	コロナの影響で海洋教育のつどいが書面開催になったことは残念であるが、その中でパンフレットや冊子の作成等の工夫により実施できた事は評価できる。 新しいカリキュラムの開発により新たな体験が海洋教育への好奇心、意欲に結びつくことで、三浦への郷土愛を持ってもらうことや人材育成による成果が表れてくることに期待する。 また、三浦らしい教育でもあるので、ホームページでの事業内容の公開は継続的に願う。					

No.	事業名					部門	一体感
32	地域ぐるみの学校安全安心体制整備推進事業					部	教育部
						課	学校教育課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				項	01 教育総務費
	施策	みうらっ子を地域で育む風土づくり				目	03 教育指導費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		0	0	0	0	0	0
決算(見込)		0	0	0	0	0	0
執行率		-	-	-	-	-	-
予算執行率100%超又は 執行なしの理由							
令和 3 年度 事業内容							
学校と家庭・地域の関係機関・団体が連携し、児童・生徒及び学校が被害を受ける事件を防止し、子どもが安心して教育を受けることができるよう、登下校時等における児童・生徒のスクールガード活動（見守り活動）に対する支援を行います。							
目標と実績	令和 3 年度 達成目標		令和 3 年度 実績			達成状況	
	各小中学校でのスクールガード活動の実施：学校課業日全日		各小中学校でのスクールガード活動の実施：学校課業日全日			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対応方針			
	【成果】地域の積極的な協力により、登下校時の子どもたちの安全が図られている。また、活動時に着用するビブス（寄付物品）を全活動者配布した。 【課題】高齢化等の理由によりスクールガード登録者数が減少していることを受け効果的な配置等について検討していく必要がある。 また、必要物品等に係る予算を計上できていない。			市内各学校や近隣市町のスクールガードの活動状況を情報収集し、参考になる取組や組織づくりの情報については、校長協議会等において提供する。また、ビブス等の必要物品については保有する在庫を計画的に利用する。			
有識者意見	スクールガード登録者の減少が課題であるが、児童、生徒の登下校の安全のため継続的に地域の方達へ参加を呼びかけてもらいたい。 このことは教育委員会だけではなく市全体での問題として取り扱ってもらいたい。 市内の各所で危険な箇所が多く点在しており、スクールガードだけでは対応出来ない事案もあると思うので、関係部署や警察等と連携して対応を図るべきと考える。 通学路ということがわからない箇所もあるので、電柱等への「通学路」表示の設置を検討してもらいたい。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	5	事業手法が適切で、改善の余地がない。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	保護者にとって子どもたちの登下校の安全面は常に気になる事柄であり、見守りを行っているスクールガード活動には保護者、地域の方も感謝の気持ちは高いと思う。 通学の安全確保への関心も高く、スクールガードへの期待は高まると考える。 高齢化による登録者の減少に対して、各団体や保護者等への協力要請を行う等、今後に向けて取り組みを検討してもらうとともに予算の確保をお願いする。					

No.	事業名					部門	一体感
34	小学校就学援助事業					部	教育部
						課	学校教育課
総合計画	大綱	住み心地のよい都市をめざして～暮らしを支える			予算	款	09 教育費
	目標	子どもを産み育てたくなる環境づくり				項	02 小学校費
	施策	子育て支援の充実				目	02 教育振興費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		16,189,000	32,000	0	0	107,000	16,050,000
決算(見込)		14,267,124	26,000	0	0	104,420	14,136,704
執行率		88.13%	81.25%	-	-	97.59%	88.08%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 3 年度 事業内容							
経済的な理由により就学困難な児童の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行います。 令和3年度は、所得による認定基準を生活保護法に定める最低生活費の1.3倍から1.4倍に引き上げます。							
目標と実績	令和 3 年度 達成目標		令和 3 年度 実績			達成状況	
	経済的な理由により就学困難な児童の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行う。		経済的な理由により就学困難な児童の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行った。			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】概ね学期内に支給することができた。 【課題】認定基準や支給単価等について、検討を深める必要があると考える。			国の基準に届くよう、段階的に措置を行っていくよう努める。			
有識者意見	子どもの学校生活が平等な環境で教育を受けられるよう円滑に支給を進めて頂きたい。 支給基準の引き上げを行ったことは評価できる。 支給対象者の多さに驚くとともに、援助費が有効に使われていくことを望む。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	コロナ禍で各家庭の経済力の格差は広がったように思える中で、経済的事情のある保護者にとっては、この援助事業に支えられたと思う。 子どもたちが経済的な理由で学校生活が楽しめないことが生じないよう、今後も事業内容の検討、充実を望むとともに、支給単価の改善をお願いする。					

No.	事業名					部門	一体感
35	中学校就学援助事業					部	教育部
						課	学校教育課
総合計画	大綱	住み心地のよい都市をめざして～暮らしを支える			予算	款	09 教育費
	目標	子どもを産み育てたくなる環境づくり				項	03 中学校費
	施策	子育て支援の充実				目	02 教育振興費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		11,829,000	57,000	0	0	64,000	11,708,000
決算(見込)		8,415,042	0	0	0	70,840	8,344,202
執行率		71.14%	0.00%	-	-	110.69%	71.27%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 3 年度 事業内容							
経済的な理由により就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行います。 令和3年度は、所得による認定基準を生活保護法に定める最低生活費の1.3倍から1.4倍に引き上げます。							
目標と実績	令和 3 年度 達成目標		令和 3 年度 実績			達成状況	
	経済的な理由により就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行う。		経済的な理由により就学困難な生徒の保護者に対し、学用品費や給食費等の援助を行った。			100%以上～125%未満	
						達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】概ね学期内に支給することができた。 【課題】認定基準や支給単価等について、検討を深める必要があると考える。			国の基準に届くよう、段階的に措置を行っていくよう努める。			
有識者見	子どもの学校生活が平等な環境で教育を受けられるよう円滑に支給を進めて頂きたい。 支給基準の引き上げを行ったことは評価できる。 支給対象者の多さに驚くとともに、援助費が有効に使われていくことを望む。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見		コロナ禍で各家庭の経済力の格差は広がったように思える中で、経済的事情のある保護者にとっては、この援助事業に支えられたと思う。 子どもたちが経済的な理由で学校生活が楽しめないことが生じないよう、今後も事業内容の検討、充実を望むとともに、支給単価の改善をお願いする。				

3 学校給食課所管事業

No.	事業名				部門	一体感
36	学校給食事業				部	教育部
					課	学校給食課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算項目	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				04 学校給食費
	施策	みうらっ子を育む教育力の向上				01 給食管理費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他 一般財源
当初予算		163,781,000	0	0	0	10,504,000 153,277,000
決算(見込)		162,571,936	1,838,000	0	0	4,000,000 156,733,936
執行率		99.26%	-	-	-	38.08% 102.26%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由						
令和 3 年度 事業内容						
郷土を愛する食育を推進するため、特産品であるまぐろや新鮮な野菜を活用したメニューづくりに取り組み、「三浦ならではの地産地消の学校給食」を実施します。 また、安全、安心な学校給食の提供に努め、市内小中学生の心身ともに健全な発達に寄与していきます。						
目標と実績	令和 3 年度 達成目標		令和 3 年度 実績		達成状況	
	学校給食の円滑な運営。 地元野菜の廃棄ロスの減少に貢献できるように、地元野菜を使用するメニューの回数を増やす。 新たな地産地消メニューの提供。		三崎、南下浦両調理場の施設及び機器等の保守点検、保全補修を行うとともに、衛生管理に留意し、適正な管理運営を行い、安心安全な学校給食を提供することが出来た。 キャベツ、大根の使用期間を延ばし、ジャガイモ、玉ねぎについて市内産の使用を増やした。 4種類の新たな地産地消メニューを提供した。		100%以上～125%未満	
					達成状況100%未満の理由	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針		
	【成果】令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大のため、市内小中学校の学校、学級閉鎖が頻発したが、栄養士及び調理、搬送の業者とも連携をとり、円滑な学校給食の運営が図れた。 衛生管理については、両調理場とも新たな衛生基準と併せて、新型コロナウイルス感染症拡大防止にも配慮した指導を行った。 地産地消のメニューについては、4種類の新たなメニューを提供した。 アレルギー対応は、教職員と連携し、該当する児童生徒の対応食のメニューを増やしつつ、安全に配慮して給食を提供することができた。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、臨時休校等により給食が不要となった保護者に対し、給食費を返金した三浦市学校給食会を支援するため、補助を行った。 【課題】地場産野菜等を活用した新たなメニューの開発及び公会計化を含めた学校給食費会計の透明化に向けての検討			今後も、県栄養士、調理、搬送の委託業者と連携を図り、安全安心な学校給食を実施する。 地産地消のメニューについても、新たなメニュー開発に取組み、地場産野菜等を積極的に活用していく。 公会計化を含めた学校給食費会計の透明化に向けての取組みを進めていく。		
有識者意見	三浦市の誇れる事業の一つであると思う。 地産地消の新メニューを提供していることは、とても評価できる。 身近な食材を使うことで郷土愛も生まれ、食育に大きく貢献していると考える。 施設が老朽化しているので、修繕箇所を整理して給食の提供が出来なくなることがないように、修繕対応をお願いする。 また、近年の急激な物価高騰により、食材の仕入れを心配しているが、安全安心な食材の仕入れをお願いする。 コロナが収束し、子ども達が向かい合って給食を食べる日が来ることを切に願う。					
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価			
	事業手法	5	事業手法が適切で、改善の余地がない。			
	目標と実績	5	目標が適切で、十分な実績をあげた。			
	事業効果	5	具体的効果が十分に得られている。			
	付帯意見	コロナの影響で衛生面等の運営の苦労もあった事と思うが、その中で、全国的に三浦ブランドとして誇れる魚や農作物を活かし地産地消の給食事業に取り組めたことは高く評価したい。 地産地消の新メニュー4種類を提供できたことは子どもの三浦市への愛着を増進したと思うとともに、生産者の皆さんにおいてはコロナ禍での出荷低下に対して多少なりとも支援になったと思う。 今後も継続的に子どもたちに安全な給食が提供出来るようお願いする。 また、学校給食費会計の透明化についても、早急に進めてもらいたい。				

4 文化スポーツ課所管事業

No.	事業名					部門	一体感
43	地域スポーツ振興事業					部	教育部
						課	文化スポーツ課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる				予算	09 教育費
	目標	三浦が一体となる文化づくり					06 保健体育費
	施策	スポーツ・レクリエーション活動の促進					01 保健体育総務費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
当初予算		1,620,000	0	0	0	0	1,620,000
決算(見込)		1,355,500	0	0	0	0	1,355,500
執行率		83.67%	-	-	-	-	83.67%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 3 年度 事業内容							
スポーツ振興のため三浦市総合体育大会事業、競技力向上選手育成強化事業等を行う。 三浦市スポーツ協会の育成を図るため活動補助金を交付し運営をサポートします。							
目標と実績	令和 3 年度 達成目標		令和 3 年度 実績			達成状況	
	三浦市スポーツ協会への補助金交付:1件 三浦市総合体育大会の開催		三浦市スポーツ協会への補助金交付:1件 (1,355,500円) 三浦市総合体育大会中止			50%以上～75%未満	
						達成状況100%未満の理由 新型コロナウイルス感染症拡大を受け、共催予定であった三浦市総合体育大会が中止となったため。また、スポーツ協会の事業費に余剰が生じたため、補助金の一部を返還してもらった。	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】達成目標に掲げたとおり補助金の交付を行ったことで、三浦市スポーツ協会の運営をサポートすることができた。 三浦市総合体育大会は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となった。 【課題】新型コロナウイルス感染症が終息するまでの間、スポーツをする機会の減少が見込まれるため、人々のスポーツ離れが進行しないよう対策が必要である。			引き続き、三浦市スポーツ協会と文化スポーツ課が連携し、安心・安全にスポーツに触れ合うことができる機会の創出及び検討を行う。また、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、三浦市総合体育大会の3年ぶりの開催に向けて、取り組んでいく。			
有識者見	コロナ禍においても各スポーツ団体が工夫をしながら活動を続けているので、市民のスポーツ離れを防ぐように、しっかりとサポートしてもらいたい。 スポーツ人口も減少しており、近隣地域との連携を図る必要も感じる。 施設の老朽化により、大会等に支障が出ないように不具合等がある場合は、速やかに修繕対応することをお願いしたい。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	3	一定の効果は得られている。				
	付帯意見	昨年度に引き続き三浦市総合体育大会等のスポーツ事業が見送られた事は残念に思う。 コロナの影響で大会の中止、スポーツの機会の減少等、事業活動が制限される中で、コロナ前と同様に実施することは今となっては難しいと感じるが、現状に合わせたスポーツ活動を積極的に模索する必要があると思う。 来年度に向けて、スポーツ離れが進行しないように、三浦市スポーツ協会と連携しながら取り組んでもらいたい。					

No.	事業名					部門	一体感
57	社会教育講座事業					部	教育部
						課	文化スポーツ課
総合計画	大綱	住み心地のよい都市をめざして～暮らしを支える			予算	09	教育費
	目標	生きがいをもって生涯を過ごせる環境づくり				05	社会教育費
	施策	生涯学習の推進				01	社会教育総務費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
当初予算		125,000	0	0	0	0	125,000
決算(見込)		121,000	0	0	0	0	121,000
執行率		96.80%	-	-	-	-	96.80%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 3 年度 事業内容							
子どもから高齢者まで、市民一人一人が、様々な形で学習活動に取り組むことでお互いの個性や能力を伸ばし、生きがいに満ちた毎日を送るとともに、豊かな地域づくりという共通の目標に向けて共に学びあいお互いの知恵や経験を活かし合っていくことをめざして、社会教育講座実行委員会により各種社会教育講座の企画運営を行います。							
南下浦市民センターでは、小学生と保護者が対象の「したうら塾」、シニア世代が対象の「趣味の農業」のほか、「絵画講座」等を行います。							
初声市民センターでは、小学生と保護者が対象の「みちしお学級」のほか、「工芸講座」「料理講座」「歴史講座」「親子やきもの教室」等を行います。							
目標と実績	令和 3 年度 達成目標		令和 3 年度 実績			達成状況	
	社会教育講座実行委員会決定された社会教育講座の実施。 実施講座数：36講座		社会教育講座実行委員会決定された社会教育講座を実施した。 実施講座数：31講座			75%以上～100%未満	
						達成状況100%未満の理由 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5講座を中止にしたため。	
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対応方針			
	【成果】講座の開催にあたっては、(人数制限を行うなど)感染対策を講じた上で、開催が可能な講座を選定し実施した。 アンケートによると、開催した講座の参加者の95%から、講座内容について「満足」と回答され高評価をいただいている。 【課題】市民ニーズの講座への反映、参加者の増加策、対面式での講座が開催できない場合の対応を検討する必要がある。			アンケートからニーズの把握を行い、それに沿った講座を開催。動画を視聴することにより参加できる講座の開催等の対応について検討する。			
有識者意見	市民のニーズに応え、いろいろなジャンルの講座を揃え実施していることは評価できるが、講座の実施に関する市民の認知度を高める方策も必要と考える。 コロナ禍で制約はあるが、社会情勢に合わせた形で、市民が楽しみ生きがいとなる生涯学習の機会を工夫しながら継続してもらいたい。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	コロナの影響が続く中で、5講座が中止になったとはいえ、講座内容選択や人数制限等の努力により、昨年度のように大幅に講座が中止されなかったことは評価できる。 また、世代を超えて多くの方に高評価を頂いており、今後もより多くの人に喜ばれるように事業を継続して頂きたい。 リモートでの参加や動画配信での講座実施の検討もお願いする。					

5 青少年教育課所管事業

No.	事業名					部門	一体感
66	青少年指導員活動事業					部	教育部
						課	青少年教育課
総合計画	大綱	一体感のある都市をめざして～心を合わせる			予算	款	09 教育費
	目標	一体感を育てる人材育成				項	05 社会教育費
	施策	みうらっ子を地域で育む風土づくり				目	06 青少年教育費
事業費(円)		事業費総額	国庫支出金	県支出金	市 債	その他	一般財源
当初予算		1,222,000	0	91,000	0	0	1,131,000
決算(見込)		1,022,332	0	37,000	0	0	985,332
執行率		83.66%	-	40.66%	-	-	87.12%
予算執行率100%超 又は 執行なしの理由							
令和 3 年度 事業内容							
青少年を地域ぐるみで育成する活動の推進役として、関係団体と連携をとりながら、パトロール活動や青少年との交流活動を通して青少年の健全育成を支援します。							
目標と実績	令和 3 年度 達成目標		令和 3 年度 実績		達成状況		
	青少年指導員連絡協議会の開催：年4回 役員会開催：年4回 パトロール活動の実施 青少年の健全育成に係る啓発活動の実施		青少年指導員連絡協議会の開催：年2回 役員会開催：年3回		50%未満		
					達成状況100%未満の理由 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議を除く全ての活動が中止となったため。		
事務局自己評価	成果及び課題			課題に対する対処方針			
	【成果】対面形式で役員会を開催し、事業再開に向けての検討のほか、青少年指導員の総数や選出方法などの見直しについて、意見交換を行った。 連絡協議会では、コロナ禍における事業等について書面協議を行った。 【課題】活動可能な事業の具体的な検討、青少年指導員の総数や選出方法の見直し。			コロナ禍においても安全、安心で活動可能な事業の検討や青少年指導員の活性化を図るための意見交換を行う。			
有識者意見	青少年指導員の活動可能な事業の検討や総数及び選出方法の見直しが課題になっていると思うが、市民の負担にならないようにコロナ禍においても意見交換等により検討してもらいたい。 青少年指導員だけでは対応出来ないこともあるので、警察等とも連携し指導することで、安全安心な街づくりが図られると考える。						
教育委員会総合評価	評価項目	ランク	評 価				
	事業手法	4	事業手法は適切であった。				
	目標と実績	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。				
	事業効果	4	具体的効果が得られている。				
	付帯意見	コロナの影響を大きく受け、多くの活動がほぼ中止になった事は残念であった。 本事業は青少年の健全育成に必要とされるものなので、課題となっている活動可能な事業の検討や青少年指導員の総数や選出方法の見直しの早急な対応をお願いする。 また、他市との意見交換等での情報も参考に活動の継続をお願いする。					

6 総括表

点検・評価のうち、事業手法、目標と実績及び事業効果の3つの評価項目別評価結果を課ごとにまとめると、次の表7のとおりとなります。

【表7：点検・評価総括表】

評価項目別ランク			所管課					計
			教育 総務課	学校 教育課	学校 給食課	文化 スポーツ 課	青 少 年 教 育 課	
事業 手法	5	事業手法が適切で、改善の余地がない。	1	1	1	0	0	3
	4	事業手法は適切であった。	3	5	0	2	1	11
	3	事業手法はおおむね適切であった。	0	0	0	0	0	0
	2	事業手法はおおむね適切だが、改善すべき点が認められる。	0	0	0	0	0	0
	1	事業手法の見直しが必要である。	0	0	0	0	0	0
目 標 と 実 績	5	目標が適切で、十分な実績をあげた。	1	0	1	0	0	2
	4	目標設定は妥当であり、予定以上の実績を得られた。	2	6	0	2	1	11
	3	目標はおおむね妥当であり、予定の実績を得られた。	1	0	0	0	0	1
	2	目標設定に課題があり、予定の実績を得られなかった。	0	0	0	0	0	0
	1	目標設定に問題が認められ、予定の実績を得られなかった。	0	0	0	0	0	0
事業 効果	5	具体的効果が十分に得られている。	1	0	1	0	0	2
	4	具体的効果が得られている。	3	6	0	1	1	11
	3	一定の効果は得られている。	0	0	0	1	0	1
	2	十分な効果が認められず、事業の改善が必要である。	0	0	0	0	0	0
	1	効果が認められず、事業の必要性について検証が必要である。	0	0	0	0	0	0
点検・評価対象事業数			4	6	1	2	1	14

Ⅲ 教育委員会活動状況報告

1 教育委員会教育長・委員名簿

点検・評価の実施主体である地教行法第3条に基づく三浦市教育委員会の教育長及び委員は、下記の表8のとおりです。

【表8：三浦市教育委員会教育長・委員名簿】

令和3年10月1日現在

役 職	氏 名	就任年月日	任 期
教 育 長	おい かわ けい すけ 及 川 圭 介	令和3年10月1日	令和3年10月1日 ～令和6年9月30日
教 育 長 職務代理者	お ち こう いち 越 智 康 一	平成30年10月3日	平成30年10月3日 ～令和4年10月2日
委 員	いし げ ひろ お 石 毛 浩 雄	令和元年10月1日	令和元年10月1日 ～令和5年9月30日
委 員	いし ざき ゆう ご 石 崎 勇 吾	令和2年10月1日	令和2年10月1日 ～令和6年9月30日
委 員	ひろ せ まき み 廣 瀬 牧 実	令和3年10月1日	令和3年10月1日 ～令和7年9月30日

2 教育委員会会議

(1) 開催状況

三浦市教育委員会は、原則として、毎月1回の三浦市教育委員会定例会を開催しています。令和3年度においては、次の表9のとおり定例会12回、議案34件を審議しました。

【表9：令和3年度教育委員会会議の開催状況】

開催日	会議	付議事件数
令和3年 4月26日（月）	4月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○ 教 育 長 報 告 2件 ○ 報 告 事 項 5件 ○ 審 議 事 項 2件 ○ そ の 他 事 業 報 告 1件
5月26日（水）	5月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○ 教 育 長 報 告 2件 ○ 報 告 事 項 2件 ○ 審 議 事 項 1件 ○ そ の 他 事 業 報 告 0件

開催日	会議	付議事件数
6月29日（火）	6月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 4件 ○報告事項 3件 ○審議事項 6件 ○その他事業報告 2件
7月27日（火）	7月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 1名	○教育長報告 3件 ○報告事項 4件 ○審議事項 3件 ○その他事業報告 2件
8月26日（木）	8月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 3件 ○報告事項 2件 ○審議事項 4件 ○その他事業報告 2件
9月30日（木）	9月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 3件 ○報告事項 3件 ○審議事項 2件 ○その他事業報告 2件
10月29日（金）	10月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 2件 ○報告事項 3件 ○審議事項 0件 ○その他事業報告 4件
11月18日（木）	11月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 3件 ○報告事項 4件 ○審議事項 1件 ○その他事業報告 1件
12月23日（木）	12月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 3件 ○報告事項 6件 ○審議事項 1件 ○その他事業報告 3件
令和4年 1月27日（木）	1月定例会 欠席委員 なし 傍聴者 なし	○教育長報告 2件 ○報告事項 3件 ○審議事項 1件 ○その他事業報告 4件
2月15日（火）	2月定例会 欠席委員 1名 傍聴者 なし	○教育長報告 3件 ○報告事項 2件 ○審議事項 4件 ○その他事業報告 5件
3月29日（火）	3月定例会 欠席委員 1名 傍聴者 なし	○教育長報告 3件 ○報告事項 6件 ○審議事項 9件 ○その他事業報告 4件
定例教育委員会	12回	○教育長報告 33件 ○報告事項 43件 ○審議事項 34件 ○その他事業報告 30件

（２）審議等の状況

前述のとおり、三浦市教育委員会の会議では、定例会12回を開催し、審議事項（議案）34件の審議・採決を行ったほか、教育長報告33件、報告事項43件、その他事業報告30件について報告がされています。

その案件は、次の表10～表13のとおりです。

【表 10：教育長報告案件一覧】

番号	案 件 名	報 告 日
1	人事異動について	令和3年 4月26日
2	4月の学校行事について	
3	新型コロナワクチン集団接種について	5月26日
4	三浦市立中学校体育祭について	
5	吉田市長5期目就任について	6月29日
6	三浦市学校教育ビジョンについて	
7	三浦市議会第2回定例会について	
8	教員の研修会について	
9	小中学校の夏休みについて	7月27日
10	令和3年第2回三浦市議会定例会について	
11	三浦市学校教育ビジョンについて	
12	新型コロナ感染状況について	8月26日
13	教職員のワクチン接種について	
14	市内小中学校の修学旅行中止延期について	
15	令和3年第3回三浦市議会定例会について	9月30日
16	新型コロナウイルス感染症の対応状況について	
17	台風16号の対応について	
18	新型コロナウイルス感染症の対応状況について	10月29日
19	小学校の修学旅行について	
20	新型コロナウイルス感染症の対応状況について	11月18日
21	学校行事について	
22	海洋教育写真コンテストについて	
23	新型コロナウイルス感染症の対応状況について	12月23日
24	令和3年第4回三浦市議会定例会について	
25	令和4年1月の行事について	
26	新型コロナウイルス感染症の対応状況について	令和4年 1月27日
27	1月の行事について	
28	県立高校の入試について	2月15日
29	新型コロナウイルス感染症の対応の変更点について	
30	学校行事について	
31	令和4年第1回三浦市議会定例会について	3月29日
32	卒業式・終業式について	
33	教職員の人事について	

【表 11：審議事項案件一覧】

番号	案 件 名	審 議 日
R3-13	三浦市奨学金条例施行規則の一部を改正する規則について	令和3年 4月26日
14	教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて	
15	令和3年度三浦市立小・中学校使用教科用図書採択方針について	5月26日
16	三浦市職員の服務の宣誓に関する条例の一部改正の申出について	6月29日
17	三浦市文化財保護条例施行規則等の一部を改正する規則について	
18	「チャッキラコ」の商標使用に関する要綱の一部を改正する要綱について	
19	令和3年度三浦市一般会計補正予算（第3号）に関する申出について	
20	令和3年度三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価基本方針について	
21	一般社団法人みうら学・海洋教育研究所の事業実績等報告書類の送付について	7月27日
22	令和4年度使用小学校教科用図書の継続採択について	
23	令和4年度使用中学校教科用図書の継続採択について	
24	令和4年度使用中学校教科用図書（社会（歴史的分野））の採択について	8月26日
25	令和3年度三浦市一般会計補正予算（第5号）に関する申出について	
26	令和3年度三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価について	
27	三浦市指定重要有形民俗文化財の指定に関する諮問について	
28	教育委員会事務局職員の人事異動について	9月30日
29	三浦市教育委員会教育長職務代理者の指名について	
30	教育委員会事務局職員の人事異動について	11月18日
31	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づく意見聴取について	
32	教育長が臨時に代理した事務の承認を求めることについて	12月23日
R4-1	教育委員会の職員定数について	令和4年 1月27日
2	令和3年度三浦市一般会計補正予算（第11号）に関する申出について	2月15日
3	令和4年度三浦市一般会計予算に関する申出について	
4	県費負担教職員の人事異動について	
5	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づく意見聴取について	3月29日
6	教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の制定について	
7	三浦市教育長に対する事務委任等に関する規則等の一部を改正する等の規則について	
8	三浦市教育委員会公印規定等の一部を改正する等の規定について	
9	白秋記念館運営懇談会に関する要綱等を廃止する要綱について	
10	三浦市指定重要有形民俗文化財の指定について	
11	三浦市社会教育委員の委嘱について	
12	三浦市文化財保護委員会の解職について	
13	三浦市文化スポーツ推進委員の解職について	
14	教育委員会事務局及び教育機関の職員の人事異動について	

【表 12：報告事項案件一覧】

番号	案 件 名	報告日
1	令和3年3月の後援名義等使用について	令和3年 4月26日
2	令和3年度奨学事業について	
3	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
4	三浦市社会教育委員充て職委員の決定について	
5	三浦市スポーツ推進審議会委員充て職委員の決定について	
6	令和3年4月の後援名義等使用について	5月26日
7	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
8	令和3年5月の後援名義等使用について	6月29日
9	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
10	教育委員会所管の個別施設計画（スポーツ施設）について	
11	令和3年6月の後援名義等使用について	7月27日
12	令和3年第2回三浦市議会定例会の状況について	
13	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
14	令和2年度学校給食事業（令和2年度決算）について	
15	令和3年7月の後援名義等使用について	8月26日
16	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
17	令和3年8月の後援名義等使用について	9月30日
18	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
19	令和3年第3回三浦市議会定例会の状況について	
20	令和3年9月の後援名義等使用について	10月29日
21	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
22	令和4年度予算編成方針について	
23	令和3年10月の後援名義等使用について	11月18日
24	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
25	学校給食アンケートの実施について	
26	令和3年度三浦市図書館利用者満足度調査集計結果について	
27	令和3年11月の後援名義等使用について	12月23日
28	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
29	令和3年第4回三浦市議会定例会の状況について	
30	令和3年度全国学力・学習状況調査の三浦市の調査結果について	
31	令和2年度児童・生徒の問題行動等調査結果について	
32	訴訟事件の発生について	

番号	案 件 名	報告日
33	令和3年12月の後援名義等使用について	令和4年 1月27日
34	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
35	令和4年第1回三浦市議会臨時会の状況について	
36	令和4年1月の後援名義等使用について	2月15日
37	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
38	令和4年2月の後援名義等使用について	3月29日
39	三浦市学校教育ビジョン地域協議会等について	
40	令和4年第1回三浦市議会定例会の状況について	
41	三浦市学校教育全体構想について	
42	三浦市特別支援教育推進計画について	
43	第三次三浦市子ども読書活動推進計画について	

【表 13：その他事業報告案件一覧】

番号	案 件 名	報告日
1	令和3年度事業計画について	令和3年 4月26日
2	三浦市社会教育講座 「したうら塾」の開催について	6月29日
3	三浦市社会教育講座 「みちしお学級」の開催について	
4	三浦市社会教育講座 「子ども絵画教室」の開催について	7月27日
5	三浦市社会教育講座 「秋の体操講座」肩こり・腰痛すっきり体操の開催について	
6	三浦市社会教育講座 「工芸講座」～スタンド付きフラワーボール～の開催について	8月26日
7	三浦市社会教育講座 「歴史講座」～初声村の歴史～の開催について	
8	三浦市社会教育講座 大人の絵画教室の開催について	9月30日
9	三浦市社会教育講座 「工芸講座」～ワイドパンツ作り～の開催について	
10	三浦市社会教育講座 手作り和菓子教室の開催について	10月29日
11	三浦市社会教育講座 ミニ門松作りの開催について	
12	三浦市社会教育講座 いきいき体操教室の開催について	
13	三浦市社会教育講座 「料理講座」～薬膳正月料理～の開催について	11月18日
14	三浦市社会教育講座 三浦の野菜をおいしく食べる料理講座～三浦のダイコンを味わう～の開催について	
15	令和4年三浦市成人の日のつどいの開催について	12月23日
16	三浦市社会教育講座 「趣味の農業」24期生募集について	
17	三浦市社会教育講座 やさしい俳句入門の開催について	

番号	案 件 名	報 告 日
18	第25回学校給食展の開催について	令和4年 1月27日
19	令和4年三浦市成人の日のつどいの開催結果について	
20	三浦市社会教育講座「工芸講座」フラワーかごミニバックの開催について	
21	三浦市社会教育講座「料理講座」キャベツを使った料理の開催について	
22	令和3年度市内小・中学校卒業式について	2月15日
23	三浦市社会教育講座「親子農業体験教室」の開催について	
24	三浦市社会教育講座「サタデーボックス 子ども将棋教室」の開催について	
25	三浦市社会教育講座「サタデーボックス したうら子ども囲碁教室」の開催について	
26	三浦市社会教育講座 子ども料理教室の開催について	3月29日
27	第25回学校給食展の実施結果について	
28	学校給食についてのアンケート調査の結果について	
29	三浦市社会教育講座「工芸講座」フラワートピアリーの開催について	
30	三浦市社会教育講座 子ども絵画教室の開催について	

3 教育委員会会議以外の活動状況

教育委員会会議以外にも、教育委員会委員は、教育関係行事への参加、会議へ出席しています。

その主なものは次の表14のとおりです。

【表14：教育委員会会議以外の活動状況】

番号	月日	活動等の名称	活動内容	区分	所管課
1	7月27日(火)	三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価事業別ヒアリング	三浦市教育委員会所管事務事業点検・評価に関する有識者との合同の事業別ヒアリングに出席	会 議	教 育 総 務 課
2	令和4年 1月10日(祝・月)	成人の日のつどい	主催者として列席	式 典	青 少 年 教 育 課
3	3月9日(水)	中学校卒業式	卒業式への参加	式 典	学 校 教 育 課
4	3月18日(金)	小学校卒業式	卒業式への参加	式 典	学 校 教 育 課

IV 教育委員会総合所見

○義務教育に関すること

今年度もコロナの影響により様々な活動制限が生じた中で、子どもたちは立派に勉学や様々な活動に取り組んでいたと感じました。

今年度はタブレットの一人1台整備等のICT機器の導入が進み、教育環境の変化と充実が図られた年でもあったと思います。

しかし、全ての職員がICTの活用柔軟に対応するまでにはもう少し時間を要するとも伺っており、物的な環境の充実と共に、人的な環境の質を高めていくことが更に重要になると感じています。

新たな教育手法の習得を活用しながらの教育の充実を期待します。

また、学校教育ビジョンの見直しについては、市民全体で三浦の子どもたちを育む空気が醸成されるような視点で進められることに期待します。

○生涯学習に関すること

生きていく力の習得の為には、学習は必要であり、どの年代でも新たな知識の探求、技術の習得、そしてそれらを通じて人と人との繋がりを得るということは人生を豊かにするものであります。

社会教育講座事業は学習の良い機会になっていることは、アンケートでの高い評価の回答に表れていると思います。

コロナの影響でいくつかの講座が中止となりましたが、感染対策の徹底等により多くの講座が実施できたことは大変、喜ばしいと感じております。

今後も市民が興味や関心を持ち、学びながら参加できる講座の実施をお願いします。

三浦市内の小学校は単学級が多く、子どもたちの間でコミュニケーションが不足していると感じますが、子どもたちはたくましく育っていると思います。

海洋教育の場においても生物に触れ合いながら、子どもたちがコミュニケーションを図る機会になることを期待します。

○青少年に関すること

子どもたちの勉強の方法、種類の変化やコロナ禍における環境の制限においても動じることなく対応しながら生活し、学ぶ姿を見て感動を覚えました。

コロナの影響により、青少年姉妹都市国際交流事業が見送られたことは残念でしたが、これからの時代を担う三浦の子どもたちが海洋教育等を通じて様々な学びを得て、今後の社会に参画していくことを願います。

神奈川県青少年指導員キャッチコピー「地域で育てよう！青少年」の文字通り、未来を担う青少年育成に地域の力は欠かせません。

現在はイベント等、コミュニケーションの機会が失われていますが、様々な人との関わりは青少年の成長に多大な影響力を与えると考えます。

今後も学校教育だけでなく、市民全体で青少年を育む機会を増やし、三浦ならではの青少年の育成に邁進していただきたいと思います。

○社会体育に関すること

スポーツは、楽しみながら健康に生きる能力や、知識が身についたり、心身の健康の保持増進が図られる等、スポーツの効果はとても大きいものです。

コロナ禍の影響で三浦市スポーツ協会が実施する三浦市総合体育大会が中止になる等、残念な1年でありました。

今は、スポーツを楽しむ多くの機会が失われていますが、ウィズコロナを想定した新たな取り組みも今後は必要になると思いますので、人と人との「つながり」が希薄にならないように感染防止に努めながら、年代を問わず健康維持、体力増進を進めていくことを期待します。

スポーツは子どもたちが自発的にやりたいという行動力や集中力の向上に繋がり、礼儀作法を学ぶ場にもなり、多くのことを学べると考えます。

また、大人、子ども問わず、競技スポーツに打ち込む選手に触れるような機会を作ることで、関心や夢に繋がりスポーツ人口の増加を図れると考えます。

○給食に関すること

給食は家庭では経験できないメニューも沢山あり、仲間と食事をする楽しさ、一息つけるゆとりの時を味わう、食事と栄養の教育（食育）の機会になる等、子どもたちの成長と学びには欠かせないものです。

地元食材を活用した新しいメニューの提供は児童生徒に地域の食材に興味を持ってもらうと共に地元農水産業への貢献になる素晴らしい活動だと思います。

地産地消メニューの開発や、廃棄野菜ロスの減少の貢献等、誇れる活動が継続されていると自慢できます。

食品ロスについて着目しており、少しでも食品ロスがなくなるように取り組んでいると思いますが、どうしてもゼロにはならないと思いますので、戻ってきた余り食の活用を検討をお願いしたい。

今後も三浦の豊かな食材を活かし、安全安心な給食の提供が円滑に推進されることに期待します。

○教育委員会全般に関すること

令和３年度はワクチン接種が始まり、コロナ禍も収束するかと思われましたが、結果として教育現場では難しい対応が続いた１年でした。

各行事や事業においても中止が発生したことは残念な思いで一杯ですが、感染防止に努め、極力中止にならないよう努めていただければと感じました。

コロナ禍で学校の学びが止まる事もあり得るという経験は、今まで考えも及ばなかった出来事であり、ＩＣＴを活用した教育の充実は、学びを止めない為にも急務であると考えさせられました。

小学校教育環境の適正化における学校教育ビジョンの見直しに向けて、保護者向けアンケート調査を実施するための協議があり、アンケートが実施されましたが、教育現場の職員のみなさんの意見と共に検討材料とし、将来の子供たちにとって、より良い教育環境の構築が行われることを期待するとともに、何よりも愛情と人権の尊重が守られた教育、子どもたちが学校に行くのが楽しい環境づくりを忘れず、一人一人の顔が思い浮かぶ事業の展開をしてもらいたいと思います。

教育委員会が様々な業務をきめ細かく行っている事を改めて感じており、様々な課題に対して、教育委員が「協議」できる機会があっても良いと思います。

令和4年度（令和3年度実施事務事業）
三浦市教育委員会所管事務事業
点検・評価報告書

発行日：令和4年8月30日

編集：三浦市教育委員会 教育部 教育総務課

発行：三浦市教育委員会

〒238-0298 三浦市城山町1番1号

TEL:046-882-1111(代)/FAX:046-882-1160

E-mail:kyoui0101@city.miura.kanagawa.jp